

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)
 【単独・連携事業】

市町名		那須町	(単位:円)					
No.	単位数	事業名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成32年度	合計
1	1	稲沢・沼野自主防災組織形成事業	0	0	0	584,851	500,000	1,084,851
		うち市町支出額	0	0	0	584,851	500,000	1,084,851
		うち県交付金	0	0	0	282,429	250,000	532,429
2	2	地域の高齢者の居場所づくり事業	0	0	0	899,899	500,000	1,399,899
		うち市町支出額	0	0	0	899,899	500,000	1,399,899
		うち県交付金	0	0	0	449,947	250,000	699,947
3	3	記事制作・寄稿を通じた那須の魅力情報発信事業	0	0	0	1,200,000	1,200,000	2,400,000
		うち市町支出額	0	0	0	1,000,000	500,000	1,500,000
		うち県交付金	0	0	0	500,000	250,000	750,000
4	4	高齢者の生きがいづくりとお出かけ支援事業	0	0	930,839	498,598	500,000	1,929,231
		うち市町支出額	0	0	880,939	448,598	450,000	1,779,531
		うち県交付金	0	0	440,499	224,298	225,000	889,765
5	5	インターネットラジオ放送局「だっばラジオ」を活用した那須町の魅力発信事業	0	0	948,000	590,000	1,500,000	3,028,000
		うち市町支出額	0	0	930,000	500,000	500,000	1,930,000
		うち県交付金	0	0	465,000	250,000	250,000	965,000
6	6	丹野祖古歴史地区景観整備事業	0	0	930,000	520,128	700,000	2,150,128
		うち市町支出額	0	0	930,000	500,000	500,000	1,930,000
		うち県交付金	0	0	465,000	250,000	250,000	965,000
7	7	夕野地区の自然を活かした地域の環境教育推進事業	0	0	705,483	508,299	800,000	1,813,782
		うち市町支出額	0	0	624,983	412,500	500,000	1,537,483
		うち県交付金	0	0	208,259	250,000	250,000	458,250
8	8	那須高原芸術祭	0	1,584,017	559,134	600,830	100,000	2,824,081
		うち市町支出額	0	1,000,000	465,000	500,000	0	1,965,000
		うち県交付金	0	499,999	232,500	250,000	0	982,481
9	9	黒田原夏まつり	0	1,708,294	961,791	1,336,744	500,000	4,506,829
		うち市町支出額	0	1,000,000	465,000	500,000	0	1,965,000
		うち県交付金	0	499,999	232,500	250,000	0	982,481
10	10	だっばら駅前マルシェ	0	1,098,000	545,000	567,757	400,000	2,610,757
		うち市町支出額	0	1,000,000	465,000	500,000	0	1,965,000
		うち県交付金	0	500,000	232,500	250,000	0	982,500
11	11	高久地区歴史めぐりと自然散策事業	0	937,707	430,343	441,037	220,000	2,029,087
		うち市町支出額	0	937,707	430,343	441,037	0	1,809,087
		うち県交付金	0	468,653	215,171	220,519	0	904,544
12	12	黒田原地区歴史文化啓蒙事業	0	881,940	465,000	0	0	1,346,940
		うち市町支出額	0	881,940	465,000	0	0	1,346,940
		うち県交付金	0	440,970	232,500	0	0	673,470
13	13	池田地区ひまわりプロジェクト	0	144,343	182,838	150,000	150,000	627,181
		うち市町支出額	0	144,343	182,838	0	0	327,181
		うち県交付金	0	72,171	98,419	0	0	168,580
14	14	あかりキッチン	200,800	945,725	1,018,110	516,000	516,000	3,194,635
		うち市町支出額	118,800	500,000	465,000	0	0	1,083,800
		うち県交付金	58,300	250,000	232,500	0	0	540,800
15	15	那須・地ビール祭り2018	0	2,945,032	2,438,376	2,600,000	2,600,000	10,583,408
		うち市町支出額	0	500,000	465,000	0	0	965,000
		うち県交付金	0	250,000	232,500	0	0	482,500
16	16	「積極と在宅支援」による地域支え合い事業	802,207	637,388	616,083	200,000	200,000	2,255,678
		うち市町支出額	488,497	500,000	465,000	0	0	1,453,497
		うち県交付金	244,248	250,000	232,500	0	0	726,748
17	17	輝かせるアートを活用した地域づくり	1,840,765	1,098,557	1,359,451	140,000	140,000	4,378,713
		うち市町支出額	998,760	498,818	484,970	0	0	1,982,548
		うち県交付金	499,380	249,408	232,485	0	0	981,273
18	18	ホテルの里づくり事業	85,141	105,413	79,688	0	0	260,242
		うち市町支出額	65,000	105,413	79,688	0	0	250,101
		うち県交付金	32,500	52,708	39,844	0	0	125,050
19	19	ミツタ群生地周辺整備事業	527,989	499,429	463,800	30,000	30,000	1,551,218
		うち市町支出額	527,989	499,429	463,800	0	0	1,491,218
		うち県交付金	283,994	249,714	231,900	0	0	765,608
20	20	大島ふれあい田んぼアートづくり事業	922,998	796,384	384,753	200,000	200,000	2,484,135
		うち市町支出額	922,998	351,440	384,753	0	0	1,639,191
		うち県交付金	481,499	175,720	182,376	0	0	814,595
21	21	那須町工芸作家による地域づくり事業	0	1,168,875	453,364	100,000	100,000	1,822,239
		うち市町支出額	0	882,278	183,841	0	0	1,066,119
		うち県交付金	0	441,139	81,920	0	0	523,059
22	22	「クロロとゆめな」を活用した黒田原地域活性化事業	0	1,024,123	475,000	200,000	200,000	1,899,123
		うち市町支出額	0	1,000,000	465,000	0	0	1,465,000
		うち県交付金	0	500,000	232,500	0	0	732,500
23	23	竹のイノベーションを考える里山再生と地域振興	2,864,959	582,423	0	0	0	3,447,382
		うち市町支出額	1,000,000	500,000	0	0	0	1,500,000
		うち県交付金	500,000	249,999	0	0	0	749,999
24	24	那須の伝統「第17回那須九尾まつり」	8,584,168	9,204,112	8,117,930	8,000,000	5,000,000	37,908,210
		うち市町支出額	7,000,000	8,000,000	5,000,000	8,000,000	5,000,000	33,000,000
		うち県交付金	1,500,000	1,300,000	0	0	0	3,000,000
25	25	黒田原中心街賑わい創生事業	286,799	0	0	0	0	286,799
		うち市町支出額	286,799	0	0	0	0	286,799
		うち県交付金	183,999	0	0	0	0	183,999
26	26	高久地区美観形成事業	119,781	0	0	0	0	119,781
		うち市町支出額	119,781	0	0	0	0	119,781
		うち県交付金	59,880	0	0	0	0	59,880
27	27	田中地区地域交流促進事業(田中地区地域文化保全振興交流事業)	57,218	25,548	60,000	0	0	142,764
		うち市町支出額	57,218	25,548	0	0	0	82,764
		うち県交付金	28,608	0	0	0	0	28,608
28	28	寄居地区魅力拡大事業(寄居地区地域交流事業)	150,779	55,683	60,000	0	0	266,462
		うち市町支出額	150,779	55,683	0	0	0	206,462
		うち県交付金	75,389	0	0	0	0	75,389
市町計			16,803,382	25,398,991	20,175,782	19,854,238	15,856,000	89,068,391
			11,714,399	18,382,597	14,246,754	14,266,876	8,450,000	67,060,026
			3,857,197	6,850,678	4,310,584	3,133,424	1,725,000	18,676,895

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	稲沢・沼野井自主防災組織形成事業
事業主体の名称	稲沢地区地域づくり委員会
代表者の名称	薄井 悟
事業主体の所在	那須町大字沼野井190
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:地域の課題(問題)を解決し、町民が連帯して稲沢地区の地域づくりに寄与することを目的とする。 ・設立年月日:平成21年2月18日 ・構成員等:稲沢地区住民
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・稲沢・沼野井地域は、人口が減少し少子高齢化も進んでおり、さらに今後は高齢者のみの世帯の増加も懸念される。 ・高齢者だけの生活では、交流もなく、誰とも会話せずに過ごすこともある。 ・稲沢、沼野井地域は、平成10年に発生した那須水害で被害に遭った地域であり、水害や地震等の自然災害に対し地域として防災対策に取り組む必要がある。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の防災意識の向上を図ることとする。(防災講演、防災マップ) ・水害や地震等の自然災害が発生した際に、地域住民が互いに助け合ってスムーズに避難できるようにすることを目的とする。(避難訓練) ・万が一、避難所を開設することとなった際に、地域住民が自発的に避難所を開設、運営できるようにすることを目的とする。(避難所設営訓練、炊き出し訓練) ・上記の目的を達成するための組織として、稲沢・沼野井自主防災組織を形成することを目的とする。
事業概要	<p>【平成31年度(令和元年度)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月29日(土)防災講演会(稲沢地区集落センターにおいて)13名参加 講師:NPO法人栃木県防災士会 理事長 稲葉茂氏 演題:「防災とは」①防災士について②避難について考える③運転中豪雨に遭ったら④身近で作る防災グッズ ・7月30日(火)防災講演会(稲沢地区集落センターにおいて)33名参加 ※第1回地区防災計画策定促進事業 講師:NPO法人栃木県防災士会 理事長 稲葉茂氏 演題:①県政ビッグアップ番組DVD ②我が国はなぜ災害が多いのか? ③防災クイズ ④奇跡の集落 ⑤検証災害列島 ⑥地区防災計画について ・9月18日(水)避難所運営ゲーム(HUG)等(稲沢体育センターにおいて)14名参加 ※第2回地区防災計画策定促進事業 講師:NPO法人栃木県防災士会 副理事長 福田一郎氏 理事 武田政利氏 ・11月6日(水)災害図上訓練(DIG)(稲沢地区集落センターにおいて)14名参加 ※第3回地区防災計画策定促進事業 講師:NPO法人栃木県防災士会 副理事長 福田一郎氏 理事 武田政利氏 ・11月17日(日)防災マップ作り検討会(稲沢地区まち歩き)16名参加 ・12月18日(水)地区防災計画の検討・策定について(稲沢地区集落センターにおいて)15名参加 ※第4回地区防災計画策定促進事業 ・2月10日(月)地区防災計画等の検討(稲沢地区集落センターにおいて)14名参加 ※第4回地区防災計画策定促進事業 <p>令和元年11月1日に当地区の自主防災組織として「稲沢沼野井自主防災会」を立ち上げた。令和2年3月には「稲沢・沼野井地区防災計画」の策定と「稲沢・沼野井地区防災マップ」を作成し、マップについては全戸配布を行った。また、防災講演会等により地区住民の防災に対する意識の向上が図られた。</p> <p>今後は、稲沢地区社会福祉協議会や民生委員と連携し、避難困難者名簿の作成に向けて検討を進める。また、地区の防災訓練を開催できるように検討を進めていく。更には、地区住民が防災士の資格を取得することで、地域の防災力向上を図っていきたい。</p> <p>【令和2年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】安心で確かな暮らしを営む地域戦略</p> <p>【基本的方向】危機管理の強化と防災・減災の推進 防災体制の強化(公助)、防災意識の向上(自助)、地域防災体制の強化(共助)</p> <p>【KPI】防災訓練等開催数 H26 3回 → H31 4回 【H30実績 2回】 自主防災組織数 H26 1団体 → H31 90団体 【H30実績 1団体】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	31年度(令和元年度)	令和2年度	令和3年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・先進地視察 ・防災講演会 ・防災マップ作成 ・避難困難者把握調査 ・自主防災組織形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・先進地視察 ・防災講演会 ・避難訓練 ・炊き出し訓練 ・避難困難者名簿作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災講演会 ・避難訓練 ・炊き出し訓練 ・避難所設営訓練 ・避難困難者名簿更新 		
事業費	564,851	500,000	300,000	1,364,851	20,000
市町支出金 (ソフト事業分)	564,851	500,000	300,000	1,364,851	
うち県交付金	282,425	250,000	150,000	682,425	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	20,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6906
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	稲沢・沼野井自主防災組織形成事業	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
町支出金	564,851	地域づくり事業交付金
計	564,851	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	20,000	20,000	10,000	0	講師謝礼(防災士)20,000円×1回 他については栃木県事業(地区防災計画策定促進事業)より支出
非常備蓄品費	96,868	96,868	48,434	0	非常用保存水、サバイバルパン、安心米、炊き出し用なべ、やかん、凝固剤タイプ便袋
印刷製本費	144,100	144,100	72,050	0	防災マップ印刷製本費 B2両面 300枚
手数料	1,320	1,320	660	0	振込手数料
使用料及び賃借料	3,500	3,500	1,750	0	会議室使用料
備品購入費	261,322	261,322	130,661	0	難燃毛布、投光器、ストーブ他
消耗品費	37,741	37,741	18,870	0	印鑑ケース、模造紙、のり他
計	564,851	564,851	282,425	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	那須町
事 業 名	地域高齢者の居場所作り
事業主体の名称	伊王野地区地域づくり委員会
代表者の名称	伊藤 弘
事業主体の所在	那須町大字伊王野1574
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:地域の人々が自ら地域の課題を考え、町民と行政が相互理解による協働のまちづくりを推進する。 ・設立年月日:平成20年10月16日 ・構成員等:自治会長、自治公民館長、社会福祉協議会長、民生委員、地区住民 等
当該事業に係る地域の現状と課題	町全体で高齢化率36%の現状である。地域内においてはコミュニティはしっかりしているが、少子高齢化の波に飲み込まれてしまうことに危機感があるため、地域で支え合える体制作りが必要である。 (送迎関係、居場所づくり、日常支援、見守り体制づくり等の情報が集まる場所づくり)
事業目的	地域に住んでいるみんなが「安心して」「健康で」「安全に」住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるようにしたい。隣近所のつながりを大切に、みんなで支え合う地域を目指したい。
事業概要	<p>【平成31年度(令和元年度)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域高齢者がいつでも気軽に集える居場所を提供し、生涯学習や生き甲斐作り、支え合いの拠点となるような持続可能な事業展開を目指すための事業を行う。また、高齢者と子供の交流の拠点となるような仕組みと体制作りも視野に入れ展開する。(学童保育と高齢者の生きがいがつくりの合体版) (気軽にいつでも集えるサロンづくり) ①委員会の開催(3回) <ul style="list-style-type: none"> 4/27(出席24人) 拠点場所現地検討及び年度実施計画協議 11/5(出席25人) 拠点場所建物内部改装(床張)、次年度事業実施計画について協議 2/14(出席26人) 実施先進地の取組状況について地区社協と合同研修会を開催しサロン運営イメージの共有化を図った。(先進地:那須塩原市東那須野区自治会) ②拠点場所建物改装 拠点場所:那須町大字伊王野1547-3 <ul style="list-style-type: none"> ○片付け作業(2回)粗大ごみの片付け及び処分と建物全体をバリアフリー化するため、畳を撤去し処分した。7/7,9/15:ふとん、ゴミ、畳等の処分を実施 ○屋内整備(7回) <ul style="list-style-type: none"> ・畳を撤去した床に根太材を平らになるよう打ち付け、その上に合材を張り、50cm角のバズルマットを張った。 ・玄関には車いすでも利用可能にするためスロープを設置した。 ・天井が黒くすすんでいたため、室内を明るくするため張り替えた。 10/6:床張、サッシ取付、11/23,12/21,2/2,2/16:床張、3/8:床張、天井板張、3/22:調理台移動 <p>【令和2年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。 ・トイレの手すりの設置、キッチンの改装、蛍光灯の取り換え等、環境整備についても引き続き実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】安心して確かな暮らしを営む地域戦略</p> <p>【基本的方向】健康寿命の延伸と住み慣れた地域での生活の継続 多機能型福祉・地域共生拠点づくりの推進(小さな拠点づくり)</p> <p>【KPI】小さな拠点形成数 H26 0拠点 → H31 2拠点 【H30実績 2拠点】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	31年度(令和元年度)	令和2年度	令和3年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり委員会開催 ・サロン建物内部改装 ・サロン環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり委員会開催 ・サロン試験運用 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり委員会開催 ・サロン本格運用 		
事業費	899,899	500,000	500,000	1,899,899	0
市町支出金(ソフト事業分)	899,895	500,000	500,000	1,899,895	0
うち県交付金	449,947	250,000	250,000	949,947	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	4	0	0	4	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6906
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	地域の高齢者の居場所作り事業	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	899,895	地域づくり事業交付金
預金利子	4	
計	899,899	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町交付金	県交付金		
消耗品費	22,722	22,722	11,361	0	ゴミ袋、危険物手袋、マスク等
燃料費	6,093	6,093	3,047	0	発電機燃料費
手数料	21,556	21,556	10,778	0	粗大ゴミ処分料
保険料	10,800	10,800	5,400	0	賠償責任保険
委託料	118,800	118,800	59,400	0	引戸内付網戸付設置委託料
使用料及び賃借料	55,800	55,800	27,900	0	運搬用トラック賃借、建物賃借料
備品購入費	226,345	226,345	113,173	0	マルノコ、インパクトドライパー他
原材料費	437,779	437,779	218,889	0	下地ベニヤ、杉、組み立て式カーペット他
償還金	4			4	町へ預金利子返金
計	899,899	899,895	449,947	4	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	記事制作・寄稿を通じた那須の魅力・情報発信事業
事業主体の名称	那須地域編集部
代表者の名称	増山このみ
事業主体の所在	那須町大字寺子丙1-157
事業主体の概要	団体の目的:地域の情報発信力及び地域の情報モラルの向上と那須町全体の活性化(特に地域間連携)に寄与する。 ・設立年月日:平成30年12月12日 ・構成員等:町内在住の若年層
当該事業に係る地域の現状と課題	【現状】若者が少なく高齢化が進んでおり、高原エリアを除き賑わいもほとんどない。地域間連携が少なく、地域の話題が情報発信されていない。 【課題】 ・地域のローカル情報をまとめたインターネット記事が無く地域住民は元より移住定住希望者への町の訴求ができない。 ・地域の情報を集約した情報源が無い。 ・情報発信モラルが低くインターネット上での情報発信ルールを知らない人が多く読み手に意図が伝わりにくい。 ・情報発信を行う若者が少なく将来を担う人材が不足している。
事業目的	町内ははじめ県内、県外の方への多様な情報発信においては、地域間の垣根を超えるインターネットをメインツールとし情報を定期的に発信していく必要がある。情報発信には質も重要であり老若男女問わず、しっかりと情報を受け取ってもらうためのすべを身に着ける必要がある。 この事業では、地域の情報発信力(記事作成力)及びモラルの向上から効率的かつ効果的な情報発信を行うための人材育成・記事作成を行い、実際に寄稿も行うことで、記事を通じた地域振興に寄与する。
事業概要	【平成31年度(令和元年度)】 ①ライター育成・教育「ローカルエディターナイトの開催」 ・7月26日(金) 黒田原地区まちづくりセンター会議室 参加者24名 講師:小峰 禮氏(東宝マーケティング タイアップコーディネーター) テーマ:紹介記事の書き方とコラボの魅力 ・10月18日(金) 那須町文化センター研修室 参加者27名 講師:齋藤充博氏(体験型情報メディア「ディリーポータルZ」ライター) テーマ:体験したことを記事にしてみよう〜実践!グルメをテーマにしたライティング〜 ・1月24日(金) 那須町文化センター研修室 参加者30名 講師:辰井裕紀氏(番組リサーチャー) テーマ:記事を書くためのネタや情報って、どうやって集めるの?リサーチの方法について学んでみよう。 現役ライターを講師に招き、初心者向けのテーマで講習会を実施した。町の広報紙やFacebookで那須エリア中心に告知を行い、参加者を募集した結果、多くの地元の方に参加していただいた。講師は講師の実体験を交えた内容で分かりやすく好評であった。質疑応答の時間は、参加者が積極的に質問をしていたのが印象的だった。ライタースキル向上だけでなく、意見交換や新規ライターの勧誘の場としても有効だった。 ②活動の告知・ピックアップ記事の配布 講習会での活動告知のほか、栃木県の令和元年度輝くとちぎづくり表彰において優秀賞を受賞し、地域活性化に繋がる取組みとして認められ、町内外において活動の周知が出来た。取材活動も積極的に1年間活動の成果として那須町の歴史や自然をテーマにした「森の子」を発行した。 ③先進地研修視察・講習会等の参加(回実施) ・東京西武百貨店の旅の本屋「のまど」で開催された「なんも大学 presents「秋田でのんびりナイト」 ・なんも大学編集部視察(秋田県) ④地域の記事制作練習・寄稿 「ナスマッチ」(NaSuMo)「仲間たち通信那須本屋だより」等へ講習会で得た知識を生かし計51本の寄稿を実施し那須地域の魅力発信に繋げた。 【令和2年度以降】 ・前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標1】産業振興による活力ある地域戦略 【基本的方向】観光産業の振興と交流人口の拡大 【KPI】観光客入込数 H26 4,707,029人 → H31 5,400,000人 【H30実績 4,922,783人】 観光客宿泊数 H26 1,658,723人 → H31 1,900,000人 【H30実績 1,727,959人】 【基本目標2】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31)【H29実績△74人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	31年度(令和元年度)	令和2年度	令和3年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
記事制作・寄稿を通じた那須の魅力、情報発信事業					
事業費	1,200,000	1,200,000	1,500,000	3,900,000	2,000,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,000,000	500,000	500,000	2,000,000	0
うち県交付金	500,000	250,000	250,000	1,000,000	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	200,000	700,000	1,000,000	1,900,000	2,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6906
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	記事制作・寄稿を通じた那須の魅力・情報発信事業	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	1,000,000	地域づくり事業交付金
自主財源	200,000	
計	1,200,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	130,000	130,000	65,000	0	講師謝礼30,000円×1回 50,000円×2回
旅費	129,480	129,480	64,740	0	那須～東京(6名分)、那須～ 秋田(2名分)新幹線代
印刷製本費	396,140	389,914	194,957	6,226	配布用冊子印刷製本3,000冊 講習会チラシA5 3500枚 講習会ポスターA3 15枚
広告料	18,206	18,206	9,103	0	facebook広告掲載費
使用料及び賃借料	332,400	332,400	166,200	0	パソコンレンタル料
繰越金	193,774	0	0	193,774	次年度繰越金
計	1,200,000	1,000,000	500,000	200,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	高齢者の生きがいづくりとお出かけ支援事業
事業主体の名称	那須高原クロスロード振興会
代表者の名称	北牧 修平
事業主体の所在	那須町大字高久甲6334-3
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:那須地域の人が地域のために力が必要であると考えことから、会員同士で運営し部会や勉強会を通じて地域に貢献し地域を豊かにすることを目指す。 ・設立年月日:平成14年10月1日 ・構成員等:活動内容に賛同する町内外の者
当該事業に係る地域の現状と課題	当地区のある那須町北部エリアは、高齢化、過疎化が進み、高齢者の健康維持及び地域コミュニティの希薄化が課題になっている。高齢者の健康維持には、「お出かけ」が重要であり、高齢者の生きがいづくりにも大きく寄与する。しかし、「お出かけ」したくてもできない人がいる現状もあり、健康増進及び生きがいづくりという高齢者のニーズに適合した「お出かけ」支援が必要である。
事業目的	高齢者のお出かけ支援のニーズ調査の上、そのニーズを満たすために住民が主体となった助け合いによるお出かけ支援事業を展開し、高齢者の健康増進と生きがいづくりを醸成する。 また、事業を通じて世代間の交流を図り、住民の郷土愛を醸成する。
事業概要	<p>【平成31年度(令和元年度)】</p> <p>①月例検討会 地域住民との経路や運行方法を検討した。 4/15 参加9名、5/8参加 6名、6/12 参加6名、7/17 参加7名</p> <p>②お出かけ 5/23 温泉とランチのお出かけ会を実施した。 14名参加</p> <p>③試験運行(1) 那須高原クロスロード振興会メンバーと検討会参加者有志で試験運行を実施した。 8/19 黒磯ルート 8/26 黒田原・芦野ルート 12月～1月試験運行企画を逃室、夕狩地区650世帯に全戸配布した。</p> <p>④試験運行(2) 12/3 黒磯ルート 参加3名 12/13白河ルート 参加5名 12/16黒田原・芦野ルート 参加4名 1/10 白河ルート 悪化5名 1/20クワイノ・芦野ルート 参加6名 1/28黒磯ルート 参加4名</p> <p>⑤有識者検討会 試験運行と平行して事業化に向け、有識者との検討会を実施した。</p> <p>⑥学習会&事業報告会 3/15 お出かけについての学習会と事業報告会を実施した。参加13名</p> <p>検討会やお出かけ会でのニーズ調査、分析を行い、ニーズのあるコースから試験運行を行い、ルート運行案を作成することが出来た。参加者は多くなかったが運行満足度はとても高かった。 地域での認知度を上げ、ニーズを反映した良い運行ルートをつくり、次年度から引き継ぐ団体へスムーズに引き継げるよう準備を進める。</p> <p>【令和2年度以降】 ・前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H2) → 300人(H31) 【H29実績△74人】</p> <p>【目標2】安心で豊かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31) 【5年に1度のアンケート調査のためH30実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	31年度(令和元年度)	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①学習会 ②お出かけ支援調査 ③アンケート調査 ④試験運行 ⑤事業説明会 ⑥リーフレットPR	①イベント・学習会 ②定時運行実現の検討 ③相互扶助によるお出かけ支援の促進	①イベント・学習会 ②会員相互のお出かけ支援を拡充 ③定時運行の実現		①2018年度策定の事業計画に基づいた事業
事業費	930,638	498,593	500,000	1,929,231	500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	880,938	448,593	450,000	1,779,531	0
うち県交付金	440,469	224,295	225,000	889,765	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	49,700	50,000	50,000	149,700	500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6906
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	高齢者の生きがいづくりとお出かけ支援事業	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	448,593	地域づくり事業交付金
自主支出額	50,000	
計	498,593	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
報償費	100,000	100,000	50,000	0	学習会講師謝礼20,000円×1名×2回、討会有識者謝礼20,000円×2名×2回
旅費	47,110	47,110	23,555	0	学習会講師旅費12,610円×1回有識者旅費12,970円×2回
消耗品費	20,108	20,108	10,054	0	試験運行について全戸配布用封筒、ゼンリン地図
印刷製本費	94,655	94,655	47,327	0	チラシ、学習会資料コピー代
通信運搬費	6,720	6,720	3,360	0	84円切手 80枚
委託料	80,000	30,000	15,000	50,000	ドライバー講習会資料作成委託
使用料及び賃借料	150,000	150,000	75,000	0	移送車両借り上げ料、会場使用料
計	498,593	448,593	224,296	50,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	インターネットラジオ放送局「だっばラジオ」を活用した那須町の魅力発信事業
事業主体の名称	黒田原放送協会
代表者の名称	山崎 雅人
事業主体の所在	那須町大字寺子乙4036-3
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:ローカルから全国へ向けた情報発信をインターネットラジオを主とするメディアの活用により那須町の地域振興に寄与すること。 ・設立年月日:平成30年1月1日 ・構成員等:黒田原地区の若者
当該事業に係る地域の現状と課題	那須町には年間500万人もの観光客が訪れているが、那須町民の「生の声」を知ることが出来るインターネット上の情報インフラが整っていない状況であり、リアルタイムでの地元からの発信が少ないことに気づいた。また、インターネット上での地元向けの情報発信や地元住民が楽しめるコンテンツも少ない。これらのことから、観光客や町外者に対する多様な情報発信、地域の方に対するコンテンツ発信不足を解消するために活動を行う。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客や町外、県外の方への多様な情報発信を行い那須町の知名度向上と魅力発信、地域のファンを獲得する。 ・地域間の垣根を超えるインターネットをツールとし、幅広い年代の地域住民がパーソナリティーを務めることにより生まれる独自の目録や感性、情報を定期的に発信することで地元愛の醸成とにぎわいの創出を図る。
事業概要	<p>【平成31年度(令和元年度)】</p> <p>ラジオ放送を中心とした町の魅力発信事業を年間を通して実施した。(場所:黒田原インターネット放送局 だっばラジオ)</p> <p>①ラジオ番組告知宣伝</p> <p>告知宣伝では、別番組の視聴誘導、番組内でのチャンネル登録誘導を継続実施しながら、紹介用のチラシ作成、配布やYouTubeチャンネルページの更新等を行った。チャンネル登録数は550人を突破し、視聴回数も累計100,000回を超えた。チャンネル登録数の年間増加率は前年比151%だった。</p> <p>栃木県の令和元年度輝くちぎづくり表彰において優秀賞を受賞したことにより、CRT栃木放送への出演や福島テレビ番組出演など、町外への宣伝告知が出来た。また、町広報紙においてだっばラジオの周知やパーソナリティー募集掲載も行った。</p> <p>②ラジオ番組の強化</p> <p>町内の「農」を中心とした「食」に関するコミュニティ番組を新設し、新たなリスナー流入を得られ新しい取組みの大切さを実感した。また、中高年齢向けの継続番組では、多くのゲストを招聘することで同世代のリスナー獲得強化を進めることが出来た。</p> <p>放送機材の強化と撮影用資材を購入することで、番組の質が向上している。</p> <p>③地域との連携強化</p> <p>・ラジオ体験ブースの出展 町が主催する子どもの健全育成を目的としたイベントや地域イベントにおいて、ラジオ体験ブースを出展し、子どもたちを中心にラジオの取組みやチャンネル登録案内、黒田原地域のPRを行いラジオ体験の機会を提供した。</p> <p>・開局4周年を記念したイベント実施 24時間放送送交交流会では、リスナーや地域住民にラジオへの愛着を高めてもらえるよう、今後のだっばラジオについての意見交換会やリアルタイムで番組放送への出演などを行った。全国各地のリスナーが祝福に来町してくれるなど、ラジオ放送の効果も改めて知ることが出来た。</p> <p>④だっばラジオオリジナル体験「だっばラジオ体験」制作 町内在住の理学療法士の監修のもと、番組特徴をイメージした健康増進体験をオリジナル楽曲で制作した。コロナウイルス感染拡大を防ぐため、住民参加での動画撮影は断念せざるを得なかったが、次年度以降に取組みを継続する。</p> <p>次年度も継続して、町内外へ情報発信を行いチャンネル登録数や再生回数を伸ばしながら地域での情報発信力を強化して行く。また、収録放送や出張放送などを強化し、様々な放送形態により町の魅力の伝え方について工夫して行く。</p> <p>【令和2年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31) 【H29実績△74人】</p> <p>【目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31) 【5年に1度のアンケート調査のためH30実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	平成31年度(令和元年度)	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	ラジオ放送を中心とした町の魅力発信事業	ラジオ放送を中心とした町の魅力発信事業	ラジオ放送を中心とした町の魅力発信事業		ラジオ放送を中心とした町の魅力発信事業
事業費	948,000	580,000	1,500,000	3,028,000	2,000,000
市町支出金(ソフト事業分)	930,000	500,000	500,000	1,930,000	0
うち県交付金	465,000	250,000	250,000	965,000	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	18,000	80,000	1,000,000	1,098,000	2,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6906
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	インターネットラジオ放送局「だっばラジオ」を活用した那須町の魅力発信事業	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	500,000	地域づくり事業交付金
寄附金	50,000	スポンサー
イベント出展協力金	30,000	
計	580,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	42,585	42,585	21,293	0	放送用機材消耗品
印刷製本費	40,000	40,000	20,000	0	ラジオチラシ 2,000枚
通信運搬費	51,795	51,795	25,897	0	インターネット通信運搬費
委託料	219,600	210,000	105,000	9,600	だっばラジオ体操制作 音源政策、体操考案等
使用料及び賃借料	120,000	120,000	60,000	0	スタジオレンタル料 10,000円×12月
備品購入費	35,620	35,620	17,810	0	放送用機材購入
繰越金	70,400			70,400	次年度繰越金
計	580,000	500,000	250,000	80,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	芦野根古屋地区景観整備事業(武家屋敷)
事業主体の名称	芦野地区地方創生協議会
代表者の名称	白井 伸雄
事業主体の所在	那須町大字寄居406
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 芦野地区の経済活性化、交流拠点化、定住促進に係る諸事業を展開する基本組織となる。 ・設立年月日: 平成28年10月15日 ・構成員等: 芦野地区自治会連合会長、芦野の里づくり委員会、聖天火花大会実行委員長など芦野地区の人々
当該事業に係る地域の現状と課題	芦野地区は城下町であり、宿場町でもあり、那須町で唯一江戸時代の面影が残る地であるが、現在高齢化が進んでいる。地区内の根古屋地区には、江戸時代芦野家臣の屋敷があったが、現在子孫は芦野を離れ、敷地や屋敷は放置され、荒れ果て往時の面影はない。後継者不足によって、保全・継承も困難となり、地域内外の交流も減少している。交流人口の増加を図るためには、この地域を観光地・芦野を代表すべきエリアとして存続させ、これまでの名所旧跡に加え、新たな歴史と文化の空間を作る必要がある。
事業目的	根古屋地区芦野家臣の屋敷跡は景観が毀れる数少ない空間であり、これらの空間を磨き上げ、集客効果の上昇や郷土愛の醸成を図ることを目的とする。 更に、屋敷跡周辺の御殿山を中心として散策コースを魅力的な景観へと導くことで観光客の滞在時間を延伸し、地区内の商業活動への波及効果を図る。
事業概要	<p>【平成31年度(令和元年度)】</p> <p>①委員会の開催(3回)</p> <p>6/5 役員会において地域づくり事業説明及び事業計画の確認をした。(出席8名)</p> <p>7/3 総会において地域づくり事業の現状及び事業計画について説明した。(出席17名)</p> <p>8/3 園地整備計画の概要について協議し、概要書を作成し植栽樹木を発注した。(会長及び副会長のみ出席)</p> <p>②屋敷跡地の整備と生垣の形成事業</p> <p>子孫は芦野を離れ、敷地や屋敷が放置され荒れ果てている江戸時代の武家屋敷跡地を整備し、空間の磨き上げを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○景観に支障となる樹木等の除去と除草作業(9回) ①遊歩道のない那須歴史探訪館付近の柵の枝払いや除草作業を実施した。 ②平成30年度に整備した遊歩道(新町~根古屋の敷石設置)の管理を行った。 4/28、5/28、6/15、7/24~26、8/3、9/10、2/13 (参加延べ人数32名) ○園地整備(4回) 武家屋敷内の池を改修作業を行い、水辺を好む植物を植栽するなど園地化を実施した。 2/14~17 重機による園地整備及び伐採樹木等の撤出作業を実施した。(参加延べ人数8名) ○植栽作業(1回) 3/12 寒椿100本、枝垂れ桜5本、水仙の植栽を実施し武家屋敷の再現を目指した。(参加9名) ○車止めブロック設置作業(1回) 3/16 御殿山駐車場に車止めブロック17台分を設置した。(参加3名) <p>③活動内容について、既存ホームページ(もうひとつの那須 芦野)上で周知、PRについて随時実施した。</p> <p>④今後の活動内容についての協議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①街並み景観の形成(向原入口、駐車場入口の板塀設置、高礼場の復元)について ②施設看板の設置について ③既存案内板の移設について ④江戸時代の意匠に合わせるため、コンクリート柵を石うすに付け替え作業について <p>【令和2年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略</p> <p>【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略</p> <p>【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31) 【H29実績△74人】</p> <p>【目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略</p> <p>【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31) 【5年に1度のアンケート調査のためH30実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	31年度(令和元年度)	令和2年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	①屋敷跡の整備 ②生垣の植栽 ③支障木の除去及び除草 ④遊歩道の整備	①委員会の開催 ②屋敷跡の整備 ③生垣の管理 ④遊歩道の管理 ⑤駐車場整備	①案内看板の設置 ②生垣、遊歩道の管理		①支障木の除去及び除草
事業費	933,000	520,126	700,000	2,153,126	0
市町支出金(ソフト事業分)	930,000	500,000	500,000	1,930,000	0
うち県交付金	465,000	250,000	250,000	965,000	
市町支出金(ハード事業分)	0	0		0	0
うち県交付金	0	0		0	
その他自主財源等	3,000	20,126	200,000	223,126	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6906
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	芦野根古屋地区景観整備事業(武家屋敷)	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	500,000	地域づくり事業交付金
自主財源	20,126	
計	520,126	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	8,866	8,866	4,433	0	コピー用紙、印刷機インク、封筒等
委託料	126,500	126,500	63,250	0	芦野石、伐採樹木運搬、案内看板修繕
使用料及び賃借料	66,000	66,000	33,000	0	重機使用料
原材料費	312,520	298,634	149,317	13,886	植栽樹木、車止めブロック等
食糧費	2,400	0	0	2,400	お茶代
燃料費	3,840	0	0	3,840	混合油
計	520,126	500,000	250,000	20,126	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	夕狩地区の自然を活用した地域の環境教育推進事業
事業主体の名称	夕狩ピオネットコミュニティ
代表者の名称	野田航平
事業主体の所在	那須町大字豊原乙627-114
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:夕狩地区の自然を学び、夕狩地区の豊かな生態系を育むために活動する。また、生物多様性が地域の暮らし、教育、産業に貢献することを目指す。 ・設立年月日:平成31年1月1日 ・構成員等:夕狩地区住民や夕狩地区の自然を守り愛する者
当該事業に係る地域の現状と課題	夕狩地域には豊かな自然があり、環境教育に適した地域であるが自然の価値や魅力を伝える機会や人材が充分ではない。この地域の価値を掘り起こすためには、地域の自然の中に入り込み調査や観察が必要だが、その機会はまだまだ少なく、継続的な活動を行うための地域の環境に精通する人材育成がされていないため、自然について学ぶ場を提供し環境教育を実践できる人材育成が必要である。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の価値や魅力を伝えることのできる人材を育成し、地域の魅力を掘り起こし郷土愛の醸成を図る。 ・当たり前にある自然や文化を学びの場として提供することで、気づかなかった地域の価値を地域が主体となり掘り起こす。 ・夕狩地区の自然を解説し、理解を深めることで外からの集客に繋がり交流人口を増加させる。 ・恵まれた自然を活用し環境教育の推進を図る。
事業概要	<p>【平成31年度(令和元年度)】</p> <p>①バタフライガーデンづくり&ぼくらのピオトープ池観察会 6/23 森林/牧場において19名参加(大人13名 子ども6名) 参加者全員が一緒に話し合いを行い協力して蝶や蜂が集まるバタフライガーデンをつくることで目標の達成感を共感するとともに、貴重な昆虫の飼育や観察の場をつくることができ、生き物の生活がより身近に感じられるようになった。</p> <p>②夏の生き物調査隊 8/3 森林/牧場において12名参加(大人6名 子ども6名) 身近な自然を知り、触れることで自然への興味が湧いてより深い知識を得ることが出来た。また、観察会や工作を通して子どもたちの夏休みの課題にも使えるプログラムとなった。観察会への参加家族同士やスタッフとの交流が生まれ、和やかなイベントとなった。</p> <p>③落ち葉の生き物マシジョンづくり&ぼくらのピオトープ池観察会 11/17 森林/牧場において8名参加(大人6名 子ども2名) 参加者全員が一緒に話し合いを行い協力して体を動かし落ち葉ダムをつくることで、楽しみながらピオトープをつくることが出来た。前回のピオトープづくりからのリピーターが増えた。ピオトープが増えたことにより、生き物の生活がより身近に感じられるようになった。</p> <p>④野鳥観察会&巣箱・バードフィーダーづくり 3/22 森林/牧場において12名参加(大人7名 子ども5名) 身近な自然に目を向けて興味を持ってもらうことと、鳥の観察だけでなく、羽の色形や鳴き方の意味など幅広く知ることが出来た。巣箱やバードフィーダー(牛乳パックのえさ台)を作って家に持ち帰り設置することで地域の鳥の生活をより身近に感じることが出来た。</p> <p>・地域の子ども会育成会や地域の小学校、地域内のサービス付き高齢者施設など幅広い年齢層との連携した環境教育の推進を図り、地域愛の醸成に繋げたい。</p> <p>【令和2年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】那須の魅力を最大限活用した地域戦略</p> <p>【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略</p> <p>【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31) 【H29実績△74人】</p> <p>【目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略</p> <p>【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31) 【5年に1度のアンケート調査のためH30実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	31年度(令和元年度)	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①各種観察会の実施 ②ピオトープづくり ③インタープリター入門講座 ④Web図鑑のフォーマットづくり	①夕狩地区育成会との連携模索 ②ピオトープづくり ③夏の生き物観察会 ④自然のお楽しみ方講座 ⑤鳥の観察会と巣箱づくりのワークショップ	①夕狩地区育成会、学びの森小学校との協働 ②ピオトープづくり ③夏休みの勉強会 ④インタープリター入門講座		①地域の子どもたちとの環境教育事業を実施 ②ピオトープを学びの場として活用したプログラム実施
事業費	705,483	508,299	600,000	1,813,782	500,000
市町支出金(ソフト事業分)	624,983	412,500	500,000	1,537,483	0
うち県交付金	0	206,250	250,000	456,250	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	80,500	95,799	100,000	276,299	500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6906
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	夕狩地区の自然を活用した地域の環境教育推進事業	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	412,500	地域づくり事業交付金
参加費	46,500	バタフライ不ガーデンづくり等参加料
自主財源	49,299	
計	508,299	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	280,596	228,808	114,404	51,788	バタフライガーデンづくり&ぼくらのピオトープ池観察会講師料他
旅費	58,192	22,617	11,309	35,575	バタフライガーデンづくり&ぼくらのピオトープ池観察会講師旅費
消耗品費	89,575	89,575	44,787	0	各講座消耗品
印刷製本費	71,500	71,500	35,750	0	チラシデザイン、印刷
通信運搬費	3,220	0	0	3,220	講座教材郵送
手数料	5,216	0	0	5,216	
計	508,299	412,500	206,250	95,799	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単体事業調査)
【単体事業】

市町名	那須町
事業名	那須高原芸術祭
事業主体の名称	那須高原作家協会
代表者の名称	瀧 昭典
事業主体の所在	那須町大字高久乙2905-45
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:本会を互いの作品の発表・情報交換・公開の場として大いに活用することにより地元アーティストを育成し、那須町のファンを獲得する。各団体、個人などからの依頼(書)公開及び募集。画廊、美術館、デパートなど個展、販売会の斡旋。 ・設立年月日:2001年4月12日 ・構成員等:宣言に同意し、作家又は志す者で町内在住者、又は町内に仕事場を持つ者。会員の推薦により委員会にて決議された者とする。
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>那須町は東西東北に広がり、地域により観光、農業など、同じ町においても産業が異なっている。また、住民も昔からの住民と首都圏からの移住者数が同数となってきており、意識や考え方に様々な考え方がありと感ずる。</p> <p>考え方は様々であっても豊かな自然と素晴らしい環境の那須町を日本、世界にアピールするために、文化程度の高いロイヤルリゾートを軸と考え、那須の魅力に引き付けられた仲間とアートを中心にして活性化させるための活動が必要であると考える。</p> <p>3年目を迎え、交通の便が良く多くの方が気軽に参加できるよう「サッポロビール森のビール園」の協力により、絵画芸術だけでなく、音楽、食、舞踏、文学など多方面との協力によりロイヤルリゾートにふさわしい活動から町の活性化に協力したい。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイヤルリゾートにふさわしいまちの実現のためにアーティストの住みたくくなるような環境作りが必要である。 ・町民をはじめ観光客の皆様にな須の芸術文化を知ってもらう機会を提供し、アートの素晴らしさ、楽しさ、魅力を感じてもらい那須に住みたくなるような活動を行う。 ・文化により若い世代の移住促進にもつなげ、地域で活動している団体や個人と協力して町を盛り上げていきたい。
事業概要	<p>【平成31年度(令和元年度)】</p> <p>那須高原芸術祭を通して絵画芸術だけでなく、音楽、食、舞踏、文学、教育施設など多方面との連携により、次世代を担う子どもたち、芸術文化に触れることができなかった住民などに気軽に芸術文化に触れる機会を提供するとともに、アーティストの仕事づくり、地域の活性化に繋げた。</p> <p>・那須高原芸術祭 6月2日(日)~6月16日(日)15日間 11:00~17:00 場所:サッポロビール森のビール園・前庭・バンケットルーム 来場者数:延べ3,500人(15日間)</p> <p>那須地域の作家に協力をいただき、アートの祭典を開催した。期間中の主日には地元在住のアーティストによるフルートとキーボードのデュオ演奏会や幼児が楽しめる人形劇、お洒落で美味しい人気パン屋やスイーツ店などによるマルシェなども開催した。</p> <p>この連携により、来場者には数層が高いと思われがちな芸術文化を身近に感じていただける機会となり、出演者や出店者には、活動内容や商品を周知する良い機会となった。</p> <p>・那須町立学びの森小学校との連携事業(7月~9月) 校庭内のウサギ小屋をギャラリーに改装したい旨、学校長より相談を受け、ギャラリーのデザイン作業や展示品作成指導を行った。連携事業は初めてであったが、美術教育として学校や子どもたち、保護者と直接触れ合うことにより、会員のやりがいにも繋がった。少子化対策として専門分野を伸ばす良い機会となることもあった。</p> <p>【令和2年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31) 【H29実績△74人】</p> <p>【目標2】安心して確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31) 【5年に1度のアンケート調査のためH30実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度(令和元年度)	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	① 展示会の実施 ② 展示会のコラボレーション ③ ワークショップ ④ キャンドルナイトコンサート ⑤ 人材育成	① 展示会の実施 ② 展示会のコラボレーション ③ ワークショップ ④ 人材育成	① 展示会の実施 ② 展示会のコラボレーション ③ ワークショップ ④ ワインどぶろく特区との連携模索		
事業費	1,564,017	559,134	600,930	2,724,081	100,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	465,000	500,000	1,965,000	0
うち県交付金	499,999	232,500	250,000	982,499	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	564,017	94,134	100,930	759,081	100,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6906
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	那須高原芸術祭	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	500,000	地域づくり事業交付金
自主財源	100,930	
計	600,930	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	125,000	125,000	62,500	0	演奏者謝礼 50,000円、お礼品5,000円、講演料 30,000円、人形劇出演料 20,000円、
消耗品費	19,840	11,410	5,705	8,430	展示用消耗品、会場設営材料、美術交流材料費等
印刷製本費	74,216	74,216	37,108	0	チラシ1000部、ポスター300部、フォトブック498円×35冊
手数料	8,316	8,316	4,158	0	新聞折込手数料 2,200枚×3.5円
保険料	32,690	32,690	16,345	0	賠償責任保険料
委託料	225,168	225,168	112,584	0	会場設営委託、会場管理委託等
原材料費	22,500	0	0	22,500	会場設営用木材
使用料及び賃借料	93,200	23,200	11,600	70,000	
計	600,930	500,000	250,000	100,930	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	黒田原夏まつり
事業主体の名称	黒田原夏まつり実行委員会
代表者の名称	大島 寛樹
事業主体の所在	那須町大字寺子丙1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 黒田原夏まつりを推進(企画・実行)し、黒田原地区の経済・文化の向上に寄与することを第一の目的とし、定住移住の推進にも寄与する。 ・設立年月日: 平成26年6月1日 ・構成員等: 会員は団体の目的を理解し、その目的達成に向けて努力する者によって構成する。
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>黒田原地区は那須町役場、JR黒田原駅がある那須町の中心部である。特に駅前は、かつて商店が立ち並び多くの人が行き交う賑やかな場所であったが、現在は地方経済の衰退、少子高齢化による人口減少、若者の流出や後継者不足等により商店街、事業所の衰退を招いている。いかに一人ひとりが黒田原に誇りと愛着をもつことができるか、若者に伝統を継承していけるかが今後の課題である。高校生などの若い人たちに当日の祭り参加だけでなく、計画段階から取り組んでもらうことで、より地域への興味を持たせることに取り組む必要がある。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・古き良きお祭りを再現することで、黒田原地区住民のコミュニティーを図ること。 ・祭を開催することで黒田原の活性化を図ること。 ・同時開催される八雲神社のお神輿と連携することで、伝統文化を体現し黒田原地区の魅力を盛り起こすこと。 ・若い人に参加を促し伝統文化の継承と若者の定住化促進に繋げること。
事業概要	<p>【平成31年度(令和元年度)】</p> <p>○「黒田原夏まつり」の開催(黒田原駅前通り)</p> <p>開催日: 7月27日(土)</p> <p>入込数: 2,000人 出店者数 30店舗</p> <p>場 所: 黒田原駅前通り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒田原駅前通りに提灯などの飾り付けを行い、華やいだ雰囲気を作り上げることが出来た。 ・旧立正佼成会跡地のステージを利用しコンサート様々なステージを繰り広げ、来場者を楽しませることが出来た。 ・子どもおはやし、神輿神事、神輿宮出し、クロロとゆめな(黒田原のキャラクター)バンド演奏、幸福の科学学園合唱部合唱、モンゴル馬頭琴演奏、那須高等学校吹奏楽部演奏、フラダンス、踊り流し、浴衣美人コンテストなど ・八雲神社お神輿には、黒田原地区の事業者等が参加し一体感が得られた。 ・雷雨などにより予定通りの開催が難しかった「夜の踊り流し」を始めて実行することが出来たことで実行委員の達成感へ繋がった。 ・黒田原まちづくり推進協議会に毎月出席し、地域コミュニティーの活性化のための意識向上を図った。 ・栃木県地域活性化応援事業(専門家派遣事業)を活用し、専門家からの助言指導を受けることが出来、今後の継続した取組みに大きなヒントを得ることが出来た。 <p>夏祭りは一日だけのイベントではあるが、その為の準備や打ち合わせなどに時間をかけることで地域活性化に繋がっていると感じた。祭りだけに留まらず、広く黒田原全体の町のあり方を考える機会となるため、黒田原の歴史と伝統の継承に向け、今後も継続して取り組んでいく。</p> <p>【令和2年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略</p> <p>【基本的方向】「那須にしかない」地域資源を活用した魅力ある地域戦略</p> <p>【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31) 【H29実績△74人】</p> <p>【目標2】安心して確かな暮らしを営む地域戦略</p> <p>【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31) 【5年に1度のアンケート調査のためH30実績なし】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度(令和元年度)	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	黒田原夏まつりの実施	黒田原夏まつりの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・黒田原夏まつりの実施 ・黒田原まちづくり推進協議会の開催 		<ul style="list-style-type: none"> ・黒田原夏まつりの実施 ・黒田原まちづくり推進協議会の開催
事業費	1,706,294	961,791	1,336,744	4,004,829	500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	465,000	500,000	1,965,000	0
うち県交付金	499,999	232,500	250,000	982,499	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	706,294	496,791	836,744	2,039,829	500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6906
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	黒田原夏まつり	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	500,000	地域づくり事業交付金
出店納付金	30,000	1,000円×30店舗
協賛金	569,385	57件
繰越金	237,354	前年度繰越金
利息	5	
計	1,336,744	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町交付金	県交付金		
報償費	177,000	177,000	88,500	0	出演者謝礼、交通整理謝礼
消耗品費	6,687	3,307	1,653	3,380	コピー代、荒縄、スイカ割り用スイカ
印刷製本費	149,904	149,904	74,952	0	ポスターB2 100枚、チラシA3 7,000枚
光熱水費	4,200	0	0	4,200	仮設電気使用料 8月分
手数料	34,587	33,291	16,646	1,296	チラシ折込手数料 6,850枚×4.5円、振込
保険料	8,020	5,170	2,585	2,850	賠償責任保険
委託料	219,012	131,328	65,664	87,684	電気工事業務委託一式、浴衣コンテスト開催委託、看板作成業務委託、道路使用許可申請手続き委託
食糧費	105,910	0	0	105,910	準備、片付け飲食費、青年部ビール代、反省
繰越金	631,424	0	0	631,424	次年度繰越金
計	1,336,744	500,000	250,000	836,744	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須町
事業名	だっばら駅前マルシェ
事業主体の名称	だっばら駅前マルシェ
代表者の名称	渡辺 陽一
事業主体の所在	那須町大字寺子丙3
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:食を通じ農と商工業の交流による経済活性化を目指す。 ・設立年月日:平成28年12月19日 ・構成員等:正会員は、この会の目的に賛同し入会した者及びマルシェ出店者とする。
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>かつての黒田原駅前地区は、町の中心地として賑わっていたが、現在の駅前通りには営業している店舗がほとんどなく、シャッター通りとなって永い年月が経過してきた。また、農業を筆頭に観光商工業も衰退の一途を進み、担い手の減少や高齢化が進んでいる。</p> <p>農商工連携が遅れていることと農畜産物や商工業は零細事業者が多いため、広報や情報発信が貧弱なことが課題である。</p>
事業目的	<p>那須町の中心地区である黒田原に若い人に足を運んでもらい定住してもらうことを目的とする。ダサイだっばら黒田原をお洒落な住みたい街(自由が丘や二子玉と呼ばれるようなお洒落な街)にする。</p> <p>・お洒落な街や事業者育成 ・お洒落に触れる機会づくりの提供 ・町の物産品を町外、県外、国外へのPRと町の農商工業者の交流の場を提供 ・おしゃれな街「黒田原」の全国発信</p>
事業概要	<p>【平成31年度(令和元年度)】</p> <p>ナイトエコノミーを那須から発信する為に、6月～9月のプレミアムフライデーの夕方にマルシェを開催し、那須町外、県外、国外から集客し、那須町の活性化を図った。また、お洒落な人や事業者の育成に繋げるワークショップを開催した。</p> <p>①「だっばら駅前マルシェ」の開催</p> <p>6月28日(金)18:00～21:00 (出店者数)15店 (来場者数)350名 7月27日(土)10:00～17:00 (出店者数)4店 (来場者数)120名 ※夏まつりと共催 ワークショップ実施の4店舗をカウント 8月30日(金)18:00～21:00 (出店者数)12店 (来場者数)350名 9月27日(金)18:00～21:00 (出店者数)18店 (来場者数)450名</p> <p>②お洒落な人、事業者ワークショップ</p> <p>7月27日(土)10:00～17:00 (参加者)30名</p> <p>マルシェをはじめとするお洒落に特化したイベントをSNS等で発信することにより、黒田原地区に興味を持ったお客様にたくさん来ていただき、経済活性化に繋がる活動の足掛かりができた。また、町内で活動しているクラフト作家などによるワークショップを開催することで子どもからシニアまでが素敵な物に触れる機会を提供し物づくりの楽しさを知ってもらう機会づくりとなった。</p> <p>【令和2年度以降】</p> <p>・前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標1】産業振興による活力ある地域戦略</p> <p>【基本的方向】足腰の強い「農林業」の再生と生産物の高付加価値化</p> <p>【KPI】農畜産物生産額 94億円(H26) → 113億円(H31)【H29実績 104億円】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度(令和元年度)	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	だっばら駅前マルシェの開催	だっばら駅前マルシェの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・だっばら駅前マルシェの開催 ・お洒落研修の実施 ・おしゃれに触れる機会づくりの提供 ・お洒落な街 黒田原の情報発信 		だっばら駅前マルシェの開催
事業費	1,098,000	545,000	567,757	2,210,757	400,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,000,000	465,000	500,000	1,965,000	0
うち県交付金	500,000	232,500	250,000	982,500	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	98,000	80,000	67,757	245,757	400,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6906
連絡先 FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	だっばら駅前マルシェ	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	500,000	地域づくり事業交付金
出店料	49,000	1,000円×49店舗
前年度繰越金	18,757	
計	567,757	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町交付金	県交付金		
報償費	30,000	30,000	15,000	0	演奏者謝礼 1,000円×10名×3回
消耗品費	62,663	62,663	31,332	0	紙提灯、電球、電池、 布、用紙インク他
印刷製本費	117,720	117,720	58,860	0	チラシ、カード印刷
手数料	52,542	52,542	26,271	0	新聞折込手数料 3.5円×13,900枚
光熱水費	7,207	7,207	3,603	0	仮設電気使用料
保険料	18,650	18,650	9,325	0	傷害保険、食中毒保険
備品購入費	254,654	211,218	105,609	43,436	テント、電源ドラム、運 搬台車他
次年度繰越金	24,321	0	0	24,321	
計	567,757	500,000	250,000	67,757	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単体事業調査書)
【単体事業】

市町名	那須町
事業名	高久地区歴史めぐりと自然散策事業
事業主体の名称	高久地区地域づくり委員会
代表者の名称	相馬 和至
事業主体の所在	那須町大字高久甲5175-3
事業主体の概要	・団体の目的:地域の人人々が自ら地域の課題を考え、町民と行政が相互理解による協働のまちづくりを推進する。 ・設立年月日:平成21年1月29日 ・構成員等:自治会長、自治公民館長、社会福祉協議会長、民生委員等
当該事業に係る地域の現状と課題	高久地区には多くの史跡があり、里山・田畑などの自然も豊かな地区である。しかし、近年少子高齢化が進み、地域の各種イベントなどへの参加者も減少傾向にある。そのため、安全・安心な地域づくりは不可欠であり、希薄になりつつある地域住民間の交流・コミュニケーションの醸成が課題となっている。
事業目的	地域内の史跡と里山・田畑を活用した歴史めぐりと自然散策ができる順路を整備し、散策会を実施する。地域の歴史や草花・野鳥などの自然の生き物に詳しい講師の指導による歴史めぐり、自然散策会に参加させ、地区の歴史や資源の理解深化により地域への誇りと郷土愛の醸成を図る。 地域内の休耕田を活用した稲作(もち米)の栽培を地域住民と学童で行い、お互いに触れ合う機会を持つことで、希薄になりつつある地域住民の関係を改善する。また、子どもから大人まで住民間の交流・コミュニケーションを活発化することで、地域全体の安全・安心の質の向上を図り、住み良い地域づくりに貢献する。
事業概要	【平成31年度(令和元年度)】 (1)観察順路の整備(高久地区内) 自然観察、生き物観察、史跡めぐり、田植えなど、イベントへの参加者の安全確保を目的とした散策路の整備、看板補修、案内表示板などの設置、安全確保のロープ確保と田んぼ周辺の草刈り作業を実施した。 7/28,8/24,11/4,11/9,11/17,12/5,2/29,3/7 計8回(延べ58名参加) (2)歴史めぐりと自然観察、生き物観察会の実施 高久地区内に残された歴史的な史跡や草花・野鳥・川辺の生き物などの説明を受けながら史跡めぐりと自然散策、生き物などの観察会を実施 ① 8月25日:生き物(野鳥、水辺の生き物)、草花などの自然を観察する会(参加者22名) ② 11月8日:歴史(史跡)めぐり、秋の自然を観察する会(参加者高久小3年生、教師、保護者ほか) (3)もち米、古代米の栽培 餅つき大会及びバザー用として子ども育成会へもち米、古代米を提供した。 高久小学校の全学童と教師、保護者も参加し田植えと稲刈り作業を実施した。 ①田植え作業:5月26日に実施した。参加者は学童102名、教師、保護者、地域づくり委員会会員約40名 ②もち米、古代米の刈取り:10月21日に実施した。参加者は学童108名、教師、保護者、地域づくり委員会会員約15名 ③高久小学校の子ども育成会による餅つき大会にももち米90kgを提供した。また、バザーに用に古代米45kgを提供した。 11月23日 高久小学校の全学童と教師、保護者、育成会員、地域高齢者、地域づくり委員会会員約160名の参加 ・事業の打合せやイベントの準備作業に多くの委員が参加することで地域住民間の交流を図ることが出来た。 ・自然、生き物観察や史跡めぐりでは、散策路の整備、田植え、稲刈り、餅つき大会などで、地域の豊かな自然を五感で感じることができ、参加者の郷土愛の醸成に貢献が出来た。 ・もち米、古代米の栽培では、田んぼの整備、田植え、稲刈り、餅つき大会などで、学童、保護者、地域づくり委員会など多くの地域住民等の参加によってコミュニケーションの醸成が図れた。 【令和2年度以降】 ・前年度の取組の検証・分析を踏まえ、事業を継続する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標1】「那須」の魅力を最大限活用した地域戦略 【基本的方向】「那須」にしかない「地域資源を活用した魅力ある地域戦略」 【KPI】転入超過数(転入者数-転出者数) △59人(H26) → 300人(H31)【H29実績△74人】 【目標2】安心で確かな暮らしを営む地域戦略 【KPI】那須町に住み続けたいと思う住民の割合 76.4%(H26) → 80.0%(H31)【5年に1度のアンケート調査のためH30実績なし】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	29年度	30年度	31年度(令和元年度)	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
①散策順路の整備 ②歴史めぐり、自然散策会 ③休耕田の活用		①観察順路の整備 ②史跡めぐり、自然観察会 ③休耕田の活用	①観察順路の整備 ②歴史めぐりと自然散策、生き物観察会の実施 ③もち米、古代米の栽培		①観察順路の整備 ②史跡めぐり、自然観察会 ③休耕田の活用
事業費	937,707	430,340	441,037	1,809,087	220,000
市町支出金(ソフト事業分)	937,707	430,343	441,037	1,809,087	0
うち県交付金	468,853	215,171	220,518	904,542	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	0	0	0	0	220,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画財政課まちづくり係
担当者名	赤羽根 初美
電話	0287-72-6906
FAX	0287-72-1133
E-mail	kikaku@town.nasu.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	高久地区歴史めぐりと自然散策事業	
対象年度	31	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町支出金	441,037	地域づくり事業交付金
計	441,037	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源		備考	
		市町支出額			自主財源等
			県交付金		
消耗品費	43,403	43,403	21,701	0	チップソー、軍手、米袋等
燃料費	42,892	42,892	21,446	0	トラクター燃料代、混合油
通信運搬費	13,382	13,382	6,691	0	切手、はがき
保険料	12,300	12,300	6,150	0	傷害保険料
委託料	151,360	151,360	75,680	0	コンバインでの脱穀、機械清掃委託など
使用料及び賃借料	30,000	30,000	15,000	0	芭蕉っ子田んぼ使用料
原材料費	113,600	113,600	56,800	0	自然観察史跡巡り順路石
工事請負費	34,100	34,100	17,050	0	自然観察史跡巡り順路石
				0	石材取付
計	441,037	441,037	220,518	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合